愛國婦人

●定價一部三錢五厘●半年分金四十二錢●一年分金八十四錢●廣告料一行金六十錢●發行所東京麴町區牛ヶ淵公園内愛國婦人會發行所●發行兼印刷人山澤俊夫●編輯人竹内貞三

創刊明治卅五年三月廿七日●明治卅五年三月廿七日第三種郵便物認可●毎月二回（一日十五日）發行●電話番町千七百四十五番●同五百廿番●郵送無料●振替貯金口座東京壹壹三一番

明治四十四年七月十五日發行　JULY 15, 1911.

愛國婦人會支部の活動と事業とに就きて

凡そ階段は先づ其の下級より上るべく事業は小より大に及ぼすを順序かと思ふ吾人は去る四十三年八月、本紙第二百六號の紙上に『至誠は成功の基』なる題目の下に、聊か所見を述べて、本會の如き機關の廣大なる團體に於ては、幹事部なり、或は委員部なりの小區劃より、先づ其の結合を強固にし、會員互に一致協力、至誠を以て會運の發展を圖り、斯くて順次大區域に及ぼし、以て愈〻本會の基礎を確乎不拔たらしむると同時に、國家社會に貢献する處も多々益〻大ならしめむことを囑望したりしが、其の後地方の狀況を觀察するに、委員部或は幹事部、其の他小部落等の會員總會杯が、從前よりも頻繁に開催せられ、支部長又は主事の諸氏臨場し、適切なる講話等を試みつゝあることを認めたり。之れ取りも直さず小區劃内會員の一致結合を固くし、會旨を普及せしむる階段の第一歩なるのみならず、風俗改良の爲めにも頗る有益なるべしと信ず。かくて吾人の希望が幾分か實現したるやの觀あるは、本會の爲め誠に慶賀し、且つ滿足に堪へざる所なり。

然るに、吾人は茲に復、戰病死軍人遺族並に癈兵の救護方法に就き、本會愛媛支部より歡迎すべき事實の報告を得たるより、汎く之を紹介すると同時に、少しく吾人の觀るところを陳述んとす。

本號附錄愛國婦人會々報第二頁に記載あるが如く愛媛支部は從來管内戰死準戰死者遺族及び癈兵に贈與する救護金額の寡少なる爲め、單に被救護者の一時の急を救ふに止まり、一家の生計を扶助するには不十分の感あるより、此の不十分なる點を補ひ、遺族癈兵の生計窮困者を永遠に救濟せんが爲め、其の生業補助規定七ヶ條を設定し、會長の承認を得て、昨四十三年度より之を實施したり、其の要は、昨年度に於て遺族癈兵四十七人に對し、農を業とする者に犢牛一頭を買ひ與へ、漁魚を業とする者に漁船を贈り或は運送業を營まんとする者に荷車を贈與せりと云ふに在り。

翻つて本會各支部從來の救護狀況を見るに昨年度本部支出定期救護金高は七萬七千三百九十六圓にして、之に各支部の支出金總額約二萬五千圓を加ふれば敢て少額にはあらざるも、之を各支部調査の遺族癈兵總數約八萬人、其内年々現に救護金の贈與を受けつゝある者約其の三分の一即ち二萬六千餘人に配當するときは、一人漸く四圓弱に過ぎず、故に實際に贈與せらるゝ定期救護金は、少きは三圓位、多きも十四五圓を超過せざる現金を交附せられつゝあるものゝ如し。此の現金救護方法は本會の規定に依るを以て、強ち不可と云ふにはあらざれども、茲に現金贈與の效果如何は疑問なきにあらず。

一、愛媛支部所說の如く、少額の金員を贈與するは、被救護者一時の窮困は救ふべきも、未だ永遠に救護の目的を達し得ざるの懸念なきにあらざるか。

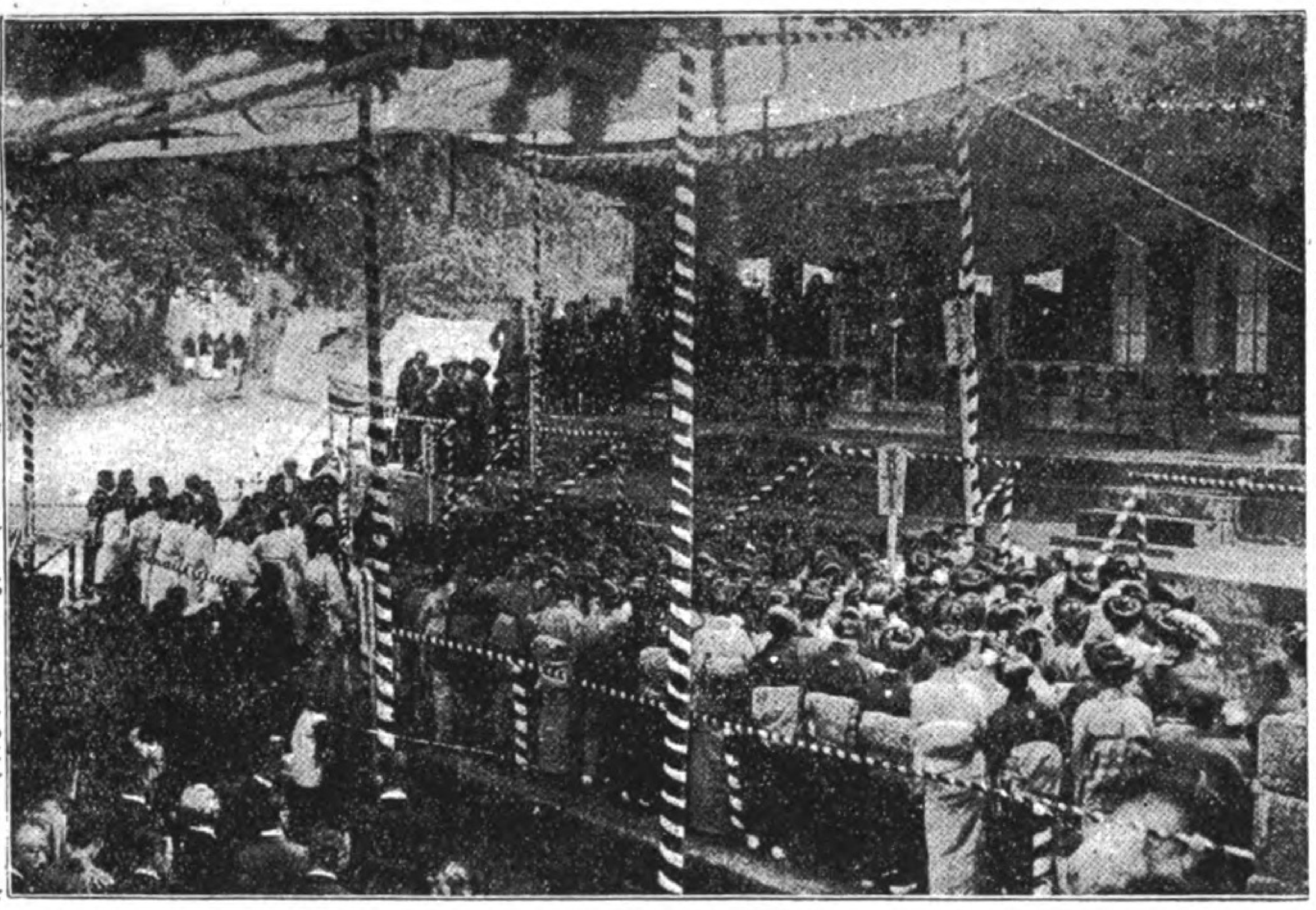
二、贈與金額の少額なる爲め、被救護者は使用方法に窮し、却つて酒食等一時の欲望を滿す費用に徒費するが如き事は無きか。

三、被救護者が贈與金に依賴し、獨立自營の美風を減殺するの虞は無きか。

かゝる疑問を生ずべき缺點あるが如し、加之、本會本部の方針も必らずや現金救護に限らざるにあり。

然らば、愛媛支部の救護法の如く、農業家に犢牛を與へ、漁魚者に船を與ふるが如き手段により、職業の基礎となるべき準備を立てしめ、各自希望の職業を營む事を得せしむるは、少額の救護金配當に勝るものと云はざるを得ず。この方法に由るときは、前記第二の缺點を防止し得るは勿論、被救護者は却て永遠に幸福平和を得、且つ徒食無爲の弊風を防禦し、更らに勤勉、努力、奮勵等の向上心を高めしむる事を得るに庶幾からん乎、と思はる。蓋し、自營自活の思想は社會の發展、國運進歩の根本たるべきものにして、國家の富強は國民個々の生產力如何に原因するものなれば、世に一人にても此の思想が發達し、徒食無爲の弊に陷るを防禦し得たらば、こは獨り其の人の爲めに祝福すべき事たるのみならず、亦國家の幸福と云ふを得べし。されば、嘗つて男爵澁澤榮一氏は『慈惠救護の原則は經濟的に且つ組織的なれと云ふに外ならず』と說かれたり。わが愛國婦人會の組織は既に整然たるものあり、而して從來の救護方法が果して經濟的たるや否やは、今日のところ殘念ながら疑問に屬するにはあらずや。

然るに、本會の救護金は、基金の利子額に因り、其の豫算に計上さるゝ者なるより分配額が寡少なりとて豫算以上に支出するを得ざることゝ信ず。故に支部に於ては其分配額と支部支出の金額の範圍内を以て最も經濟的なる方法を講究し之が實行を圖り、且つ基金補充の講究も亦急務なりと思ふ。是れ吾人の千希萬望する所なり（八田一精）



愛國婦人會朝鮮本部總會光景（五月二十七日於京城）

本號主要目次

▲愛國婦人會支部の活動と事業とに就きて……
▲慈惠救濟事業の原則……男爵 澁澤榮一
▲小兒の躾け方……棚橋絢子
▲獨逸バーデン婦人協會の事業（四）……法學博士 井上友一
▲箏曲評釋松の下風（廿七）……池邊義象
▲絹布の洗濯法……高山繁
▲子供の教養日誌……山内緋子
▲其他應募和歌俳句等
▲外に本會々報二頁
▲插畫……岡落葉
◉本紙（附錄共）十二ページ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

慈惠救濟事業の原則

男爵 澁澤榮一

▲皇室と慈善事業

抑も賑恤救濟の事は、古來我皇室の美事であつて、遠くは施藥院悲田院の古事に肇まり、列代の聖天子代々に相紹いで、恆に黎民慈撫の實を垂れさせ給ふたが、殊に今上陛下の御宇に至つては天變地異の際は勿論、折に觸れ時に應じ年々歳々御救恤の事あり、中にも畏くも英照皇太后陛下御崩御當時の御下賜金と云ひ、又は紀元節の御沙汰と云ひ、是れ皆歷代相傳の御聖德に出でたるもので、更らに閣臣之を奉じて濟生會の設立を見るに及んだのである。斯の如く、我國に於ける慈惠救濟の因つて來る所は、深遠にして且つ將來多々益々此種の事業の必要を感ずるから、此際吾々は各自互に冷靜愼緻に考究して、足らざるに備へ、過ぎたるを警めて、一に國家の爲め將た人道の爲め、時勢に應ずる最善最上の方法を案出せねばならぬ。

▲國富の充實と貧民の激增

世界列強の間に伍して、一國々力の增進並に國威の發揚を圖らむとするは、勢ひ富力の充實と云ふ一點に歸着する。而して富力の充實、即ち工業の隆盛、工業の隆盛は同時に貧民の激增と云ふことを免かれ難いのである。勿論今更ら物珍らしげに絮說までも無いが、貧民激增の實例を目擊するに於ては更らに此の感を新にせざるを得ない。現に予の關係ある東京養育院に就て見るも十年前迄は、一年間の收容人員が、約一千人許りであつたのが、今日に於ては殆んど倍加し、一千九百人內外を示して居る。故に施療院養育院等の增加といふ事は、同時に或る意味に於ける國力の發展と云ふことに外ならぬのである。

▲佛敎と個人的救濟

而して、貧民の激增を其儘に放棄するに於ては、爲に餓孚市に溢れて、聖代を穢すの基となる、玆に於てか人爲的救恤の必要が起る勿論之を以て直接關係ある工場主に責を歸する事も出來ないし、さりとて、之を政府にのみ嫁する事も無理である。寧ろ官公私共通の問題として考慮するの至當なるを認める。即ち政府は政府として行ふべき範圍、公共團體は公共團體として努むべき程度、乃至個人團體にせよ、單獨なる個人事業にせよ。自ら其の方法の範圍と程度とに種別こそあれ、其の方針に於ては、千篇一律の原則を見出したいと思ふ。由來我國の慈善事業は、佛敎小乘の因果說に出たるものであつて、其の根本の哲理中には、或は狹義の社會政策と云ふ意味も籠つて居ようが、實際に於ては、只善根善果と云ふ偶發的の發作に外ならぬ。隨つて、折角の慈善も、自分の成佛には補益する所があつても、社會の爲めには却つて惡影響を來したと云ふことは爭ふべからざる事實である。蓋し、昔は一介の乞丐にして、能く數千金を貯ふると云ふが如き、奇怪の現象も鮮くなかつた。現に『乞丐は三日すると止められぬ』と云ふ忌はしい俗諺をも生じた位である故に、今日の時勢に於ては、是等の偶發的の、個人々々の慈善は甚だ望ましくない。ところで、予は此際、新時代當然の要求として、救濟事業に關する官公私共通の原則を求めたいと思ふのである。

廣島灣內（兜島）

▲偶發的慈善の弊

予が慈惠救濟に對する官公私共通の原則とするところは、『經濟的に且つ組識的なれ』と云ふ一事である。蓋し從來の慈善行爲が、多くは偶發的、個人的であつたのを奇貨とし、齷齪として一定の勞働に從事するよりも、寧ろ座食して世の仁者の來り與へるを俟つに若かずとし、一度此弊に陷れる者は、復た正業に就くを欲せず、殊には多少の餘財を蓄ふるものも、尙且つ乞丐を以て職業とするものあるが如き傾向を生ずるに至つた。愿くは折角の慈善が、反つて世を毒し人の子を傷ふと云ふ結果になるのであるから今後は成るべく此種の偶發的慈善は止めたいと思ふのであるが、併し隣人の病で醫藥給せざるものあるを見ても、冷然我不關焉で居よと云ふ理ではなく、唯寺詣りや宮詣の途中、路傍の乞丐に金を惠むとか、或は不時の金儲けがあつたから、罪滅ぼしに貧民に焚出しを爲て施してやらうとか云ふやうな偶發的慈善は、却て世の爲人の爲に望ましく無いのである。

▲現代の要求

勿論、昔と今とは慈善の目的が全く異つて來た。昔の貧民といふのは、或は怠惰の爲に家計に困難を感ずるに至つたとか、乃至は酒色の爲めに家財を失つたとか云ふやうな、偶然の結果、一度人の憐憫を乞ふや、幸か不幸か、世に慈善家なるものがあつて、彼等に無意味な保護を與へた爲めに、縱し正業に就く可きものでも、却つて惰民となるのである。是れ眞に世の罪に非ずして人の罪である。然るに、今日に於ては世態漸くに革まつて、如何に防禦するも、如何に抑止せんとするも、機械力の發達と、生存競爭激烈との爲めに竟に失業貧困と云ふ、悲慘な結果を齎さゝるを得ない。隨つて、今日の慈惠救濟は、偶發的の個人對個人のものでなく、寧ろ社會必須のものとして此種の事業を認むる樣になつたのである而して其方法に至つては、社會狀態が經濟的に且つ組織的なるが如くに、救濟事業も亦附く經濟的に且つ組織的なれと叫びたいのである。

▲防貧と救貧

事態斯の如くして、救濟事業が社會的義務たる事を認むる以上は、勢ひ政府は勿論、地方公共團體にもせよ、乃至個人團體にせよ、夫々一の組織ある團體として、且は各自に聯絡ある機關として、大都市は勿論、出來得可くば全國各市町村全般に亘つて、一定の方針の下に、互に相扶け、相依つて活動するやうな方法にしたい。此際個人の慈善金品は、總て是等の機關を通じて施さるゝ方が、文明的に且つ有效であつて、さすれば、同一金品を以て、澤山の人も救はれやうし、殊には其の結果に於て世を益する事も多いであらう。予は此の意味に於て、敢て經濟的なれと云ふ詞を用ふるのである。蓋し、救濟事業の實際方法として、傷害疾病等の貧困患者を救濟する外に、一方に於て失業者の爲めに適當の職業を與へて、一人たりとも徒食の輩を出さないと云ふ所謂防貧の方面にも努力する必要がある世に徒食無爲の人間が、一人でも減ずれば減ずる丈け、それ丈け國富を加ふる道理であるから、『經濟的なれ』と云ふ事は今後の慈惠救濟事業に、缺く可らざる要求であると信ずるのである。

雲井の御影

▼六月一日(木)故從四位松平昭訓以下四十五名の勤王志士並碩學者に對し夫れ〳〵御贈位あり◎東宮殿下淺草向柳原松浦伯爵邸へ行啓遊ばされ半日の御清遊をとらせ給ふ◎閑院宮中將殿下赤羽工兵大隊へ御檢閱の爲め御出張遊ばさる◎朝香宮鳩彥王殿下華族會館第三十七回記念式へ御臨場◎梨本宮妃殿下名古屋へ赴かせらる

▼同二日(金)米國亞細亞艦隊司令長官ジヨセフ、ビー、マードック少將陛下へ謁見仰付らる◎久邇宮殿下葉山御成東宮妃殿下御病氣御見舞の後逗子別邸に御療養中なる御妹君織田子爵未亡人の御病氣を尋れさせらる◎病氣引籠中なる東久世伯に對し宮中より御見舞品を賜はる

▼同三日(土)英皇陛下第七十四回御誕辰日に就き聖上陛下より御祝電を贈らせらる◎久邇宮邦彥王殿下京都御成

▼同四日(日)三皇孫殿下、竹田宮殿下並に昌德宮殿下華族會館に於ける華族奬勵會の春季打毬會御臨場◎閑院宮妃並伏見若宮妃兩殿下日本赤十字社篤志看護婦人會總會御臨場

▼同五日(月)皇后陛下赤十字社第十九回總會御親臨令旨を給はる◎閑院宮妃殿下、同妃殿下、伏見若宮妃殿下並に梨本宮妃殿下同じく御台臨◎宮中月次御歌合

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小兒の躾け方

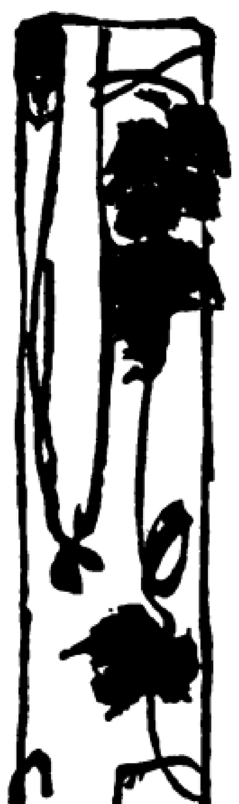
東京高等女學校長　棚橋絢子

横渠張先生の言に、「小兒を教ゆるは安詳恭敬を要す」とあり、例ば下婢を使ふに致しても、最初から何事も教へ込まずにやれ、何の仕事が拙いとか、何が良く出來て居ぬとか云つて、眞向から叱る方が、往々お在りですが、之は大變間違つた擧動で、どうせ下婢などに傭はれる者に、完全な教育を受けた者の在りやうがありませんので、よく懇に教へ導ひて、親切に使つて行くやうにせねばなりません。それには一日の仕事をチャンと定めて置いて、仕事の一つ〳〵を片端からよく教へ込んで行くやうにせねばなりません。例ば今日障子の拂き方を教へれば、次には雜巾の懸け方を教へる。障子の拂き方は、唯威勢よく音ばかりポンポンパタ〳〵高く立てゝも格の上の芥は落ちるものでは無い。斯う云ふ風に拂をまともに持つて、上から輕くすぢかひに拂く樣にすれば、さう音も立てず力を勞さなくても、綺麗に芥は落ちて了ふ。などゝよく教へ込むのであります。それが甘く上手に出來るやうになつたら、今度は雜巾がけ、雜巾はどの位に固く絞らねばならぬ。拭のに隅の所によく注意せねばならぬなどゝ、實際掃除を爲て居るところで懇ろに注意を與へてやります。そして暇がある毎に、今日は戸棚の中、明日は障子と云ふやうに、一ヶ所宛特に綺麗に掃除をさせます。すると、一度に大騷ぎを爲、大骨折で室内の掃除を致しませんでも、始終良く綺麗になつて居ります。かうして、少々下婢も馴れて來ると後では少しも世話を爲んでも、立派に致すやうになり、其の上時間を浪費せぬ良習慣も出來て參ります。

小兒に對しても同樣で、別けて娘達には稚い時から、暇ある毎にボツ〳〵と少しづゝ家事を教へ込んで行くと、小兒は苦もなく覺え込む事が出來、又夫れが習慣となつて、いつまでも身體に附き纒ひ成長して後も、第一に自己に不自由な思ひや、苦しい思ひを致しません。なにしろ、小兒が將來良くなるも、惡くなるも實に皆小兒の折の躾け方一つに因ると云つても可い位でありますから、母たる方はよくよく此の點に注意せられねは、家庭の爲めは申す迄も無く小兒の一生の爲めにも奈何に不幸か知れません。

然るに、世には往々放任主義とか云つて、子供の勝手氣儘に育て上げ、「私の子供達は放任主義で育てます」などとさも得意に公言して彼居の方も見受けますが之は放任主義ではなく、なまけ主義で、こんな詞は、全然自分の怠惰で意氣地が無いのを裏書きするやうなもので御座ります。斯く小兒を氣隨氣儘に育て上げた結果は、良い方へ傾く小兒は少なく、大かたは惡い方へ〳〵と陷つて行く、小兒の心が曲り、惡習慣が小兒の身心に深く染み込んでから始めて氣が附き、やれ教育、それ躾と大狼狽を致しましても、一度染み込んだ不良い色は、餘程嚴重に致して、非常な骨折を致さねば色褪せぬばかりで無く、夫れでは小兒も可哀相でたまつたものではありません。そこで、小兒は稚い折から母親がよくその起居動作に注意をして、よく教へよく導き、そして家事の萬般をボツ〳〵と習得させるやうに努めねばなりません。

又私は元來避暑といふことを好みませんので、自分から進んで避暑に參つたことはありませんが、老人や小兒や虚弱人はともかくも、娘盛りの者は暑中休暇の一ヶ月なり二ヶ月なりの間、學校で習ふた家政學の實地練習が必要であります。然るに別莊住居や宿屋住居などを致しますと、これ迄學校で授かつた事も忘るゝといふ樣であります。さすれば、避暑致すと致さねとでは、覺えると忘るゝとの相違といふことになります。折角自己の身心の保養の爲に澤山の金を消費て、こんな結果を得て歸るのは、誠に嘆はしい事ではありませんか、と申しても、何も避暑は絶對に惡いとは申しませぬ。避暑も誠に結構ではあるが、日常學校では成る可く家庭の實際に近い教育を與へるやうに努めて居りましても、時間が足りませんので、未だ不十分の點を免がれぬから此の避暑休暇の期を利用して、家庭でよく使つて、躾て欲しいと思ひます。學科の復習と云ふこともありますが、之は時間を定めて一時間なり二時間なり致したらば宜しいので、其れ以外の時間は、始終使ひ通しても不可ませんか、時を見計らひ、折を見て、家庭の實際に當つて練習致させることが必要であります。



獨逸 バーデン婦人協會の事業(四)

▲世界の模範的婦人會　▲平和時代の大活動

法學博士　井上友一

(二三)傴僂病小兒療養所　協會は特に傴僂病に罹れる小兒の療養所を設けて居る。

(二四)ゾフィエン婦人協會　バーデン婦人協會の一部として、疾病以外の原因により救助を要するに至れる貧民を保護するため、かういふ團體が設けられてある。所謂羞恥貧者、即ち公然貧民として救助を受くることを愧ぢる、相當の地位ある者に對して、應分の救助を與へ、特に保養の必要ある小兒をば、デュルハイム溫泉場に送り、又市の公設浴場には、無料にて入浴する事を得せしめ、必要なる牛乳、パン等を給して居る。一千九百〇七年中、この目的にて支給したる食料品、燃料等の價は合計四千九百馬克に達したさうである。

(二五)エリザベット婦人協會　これもバーデン婦人協會の一部である。救濟を要する病婦、殊に產婦の救助を目的とし、看病婦を其の家に派し、又は病院に收容して、適當なる看護を受くることを得せしめる。又貧兒の保育をも爲して居る。

(二六)少女の保育監督　この事業は左の四方面に分たれて居る。

(一)月謝を補助して、特種の學校又は協會に於て經營する學校及び講習會に入らしめる。

(二)貧民の少女にして、自ら衣食の途を講ぜざる者は、下婢として之を教育し、相當なる家に奉公せしめる。

(三)道德上の危險ある少女を教育し、救濟する爲め、之を良家庭に託して監督保護せしむるのであるが、その良家庭は容易に求め難きより、協會は一千八百九十一年以來ルイーゼン館内に、自ら是等の少女の爲めに家庭を組織し此の内に於て良家庭の氣風に習はしめ外部の惡風に染まざらしむる方法を採つて居る。

(四)疾病あり又は身體の發育不十分なる少女の爲めに、必要なる保育療養を與へ、衣類、食料及び醫藥を給して居る。夏季には數多の少女を避暑地に送り、又近郊に一の保養所の設がある。以上の四方法に涉つて、協會の經營その宜しきを得、効果の見るべきものが尠くないのである。而して右の方法の下に保育を受けた少女は二千人を超ゆるさうである。

(二七)シャイベンハルトに於ける庇護宿舍及教育所　バーデン大公の寄附によつて、シャイベンハルトに在る城址を出獄及び法律によつて感化教育を受くべき少女の庇護宿舍に使用して居る。カールスルーエーから汽車で一時間に行かれる地で美麗な庭園の間に建てられてある。五十人の少女及び婦人を收容して、一般の家事、園藝、農事等に從事せしめ、同時にその德性を涵養せんことを期して居る。(つゞく)

凱旋サイダー

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

箏曲評釋

粉の下風

(二十七)　京都大學講師　池邊義象

●新組秘事

▲羽衣

(一)君のめぐみは久方の、あまのはごろもまれに來て、なでしいはほはそのまゝに、動かぬ御代のためしかな。

天羽衣のことは、前の二長の條にいへり。こゝは天女の撫てし巖はそのまゝにて動かぬ御代のためしとなれりとなり。

(二)星をとなふるすべらぎの、雲の上までのどかなる、あしたのけしきあら玉の春日くもらぬ天かした。

星を唱ふるとは、元正の曉に四方拜を行はせたまふことをいふ。四方拜とは、天地四方屬星山陵を拜したまへるなり。すべらぎは天皇の御事。星より雲をよびおこして、雲の上まで長閑に春の立つをいふ。年中行事歌合四方拜の歌に『すべらぎの星をとなふる雲の上に光のどけき春は來にけり』とあり參考すべし。あらたまは年の枕詞なるがこゝにてはやがて新年のことにいひなしたり。春の日かげかゞやきて、年のあけゆくさまをいへり。天か下と結びたる、雄大の思想見えてうれし。

(三)ならの小川の夕風に、しらゆふかくる波のおと、神のこゝろをすゞしめの、みそぎぞ夏のしるしなる。

ならの小川の夕風に白木綿をかけて、御禊することをいへり。白木綿は神をまつるとてのわざなり。それより波の白きにつゞけたり。すゞしめのとは清くすること、清きことをすかく〱しなどいふよりうつれる詞なるべし。謠曲などに屢ゝ用ゐられたり、新勅撰家隆卿『風そよくならの小川の夕ぐれはみそぎぞ夏のしるしなりける』などの類詞に本づけり。御禊の俗はわが神代以來の清潔を好む、國民の行事なり。

(四)よはひ久しき山人の、折る袖にほふ菊の露。打はらひ〱千とせの秋やおくらむ。

よはひ久しき山人とは、仙人の事なり。支那のむかし南陽縣に菊あり。その谷の水清く甘し。これをのむ人は、千年の壽を保つといへり。新古今集俊成、『山人の折る袖にほふ菊の露打はらふにも千代は經ぬべし』これらによりたるなり。

(五)鳰の海つら見わたせば、たくひなみまにありあけの、月かげさえて白妙の、雪をかけたる瀬田の橋。

鳰の海とは近江の湖をいふ。たくひもなきといふより、波間にいひかけたり。有明の月影さえて、白妙の雪をかけたるやうに見ゆる、瀬田の長橋のけしきよきさまをいへり。湖上の長橋に雪のつもりて、一線長うひきたるさま、げにおもしろし。新拾遺集惟賢上人『さゝなみに打出て見れば白妙の雪をかけたる瀬田の長橋』といふによれるにや。

(六)萬代かけて相生の、松と竹とのふかみどり、かはらぬ色はもろともに、老せぬ契なるべし。

相生の松と竹との深き縁は、萬代をかけてかはらず、諸共に老せぬ契なむとなり。色かへぬ松と竹とのことは、古歌にもあまた見えたり。

この一組は、初章に天羽衣を引きいでゝ御代の長久を祝ひ、それより立春の雲井のさま、夏のみそぎ、秋の菊の千とせをいひ、瀬田の長はしの雪を述べ、終りに松竹のかはらぬみどりをいひて世を祝へるなり。めでたき組といふべし。

●絹布の洗濯法

高山繁

▲白羽二重の洗濯(二)

倘又、此の過酸化曹達液を用ゐ、羽二重を角楊枝にて洗ふ事に就きまして注意すべき事が少くありませぬ。以下少しく之に就て述べませう。

(一)過酸曹達の液を造るには、水二升位に對し、過酸化曹達の粉末を珈琲匙に一杯又は八分目を用ふると可いのですが、最も精確なる鑑識を爲すには、造りたる液を指頭につけ、又之を舌頭につけて其の感じに由るが可いのです、

▲指頭の間に附け擦つて粘滑な感じ舌頭に觸れしめて殆んど味を感ぜぬ程のものは、最も薄いもので本文の洗濯用として適當ものであります。

▲指頭に觸れて粘滑は感ずるが舌頭に觸れて稍甘味を感ずるものは、前のよりは稍濃厚でありますが倘洗濯用として用ゐて宜しいのです。

▲粘滑は感ずるが舌に觸れて苦味を感ずるものは前より一層濃厚なるもので、普通の洗ひに用ふるには濃きに過ぎ、唯垢付きが甚だしく汚れが非常ものを洗ふ時のみに用ゐて可い。

▲指頭に觸れ擦りて大變に粘滑を感じ舌を刺戟する程のものは、濃厚過ぎるものでありまして、之を洗濯に用ゐては絹地の光澤を失はしめ、且つ地質を弱めますから、決して斯程の強いものを用ゐては不可ません。

(二)酸化曹達を造るに就て倘注意せねばならぬ大切な事があります。

▲壜の中に貯藏たる過酸化曹達を掬ひ出すに用ふる匙が、水などで濕つて居る時には、此の水分が過酸化曹達と作用して火を發し、恐るべき損傷を釀ることがあります、それで用ふる匙は乾きたる布片で能く拭ひ、よく乾かして用ゐねばなりませぬ。

又本文に說き示した樣に、先づ過酸化曹達の液を造り、而して後此の液の中に絹物を入るゝ事を忘れてはなりませぬ、其の順序に從はず、先づ微温湯に絹布を入れ、其の上に過酸化曹達の粉末を入れた爲めに、全く絹布を廢物に致した人もありますので、念の爲めに茲に注意致して置きます

▲過酸化曹達は前述のやうに大變激烈な藥品でありますから、之を貯藏へるにも十分の注意を要します、紙に包んで置くと直に水分を吸收し周圍の觸るものを害し、且つ性質を失つて全く用をなさぬ事となります。それで、過酸化曹達を貯へるには必らず壜の中に入れ、常に其の口を密封し空氣の出入せぬ樣にして使用の爲め口を開いた時には成る可く速に口を閉ぢ、パラフインか蠟(蠟燭の蠟にてもよし)で封じて置かねばなりませぬ。

▲かく取り扱ひにも手數がかゝり、價も亦大變不廉であるけれど過酸化曹達を用ゐて洗ふ時には、絹布の貴重なる性質である、絹の光澤を失ひませす、其の上地質も傷めませず、能く三十回以上も洗濯する事が出來ます、それで洗濯曹達の方が過酸化曹達より貯藏にも取扱にも煩はしき手數が無く、價も廉くありますが、之を用ふると、絹の光澤が失くなり、地質を傷めますから過酸化曹達を用ゐます。

(つゞく)

懸賞　暑中の御樂み　懸賞

燒けるやうな暑さ、休息の時期が參りました。山に海に暑さを避けらるゝ方々もありませう。若しくは室内で靜かに安息を取らるゝお方もありませう。かゝる安息の時期を有益に使はるゝ御一法として、次のやうな斬新な懸賞を出す事に致しました。

▲此の世の神なる子供の歲當▼

▲何うしても募集に應ずるか!▼

八月一日號の本紙廣告欄は、花も羞じらう可愛い子供の六人の寫眞が1から6迄番號つきで掲げてあります、其子供の一番は何歲、二番は幾歲、三四五六と諸姉の御考へを葉書に御記しの上、愛國婦人發行所懸賞係へ御投じを願ます。

▲どんな人が選に當るか

子供の年齡の六つが悉く當りませんでも四つでも五つでも一番數多く當つたお方から一等二等三等を選びます。若し同じ數だけお當りの方が多數な場合は、寫眞中の一人の子供を選んで公平な抽籤を行ひます。

▲賞品は何か

一等　二人　羽二重上等帛布一枚づゝ
二等　五人　繪葉書アツタ一個づゝ
三等　十三人　女持上等扇子一本づゝ

▲〆切發表▼

〆切期日は八月廿日として、九月一日號に當選者を發表致します。

懸賞　中原の鹿を射るは何人?　懸賞

●愛讀者諸君へ謹告

▲新聞の代金 をお送りになる時は、振替貯金が一番安全確實で、紛失や未着の恐れもなく其の上郵便料もいりませんから、御便利でございます。

但振替で御送金になる時は、拂込口座記料として金一錢必らず御添へを願ます、

▲振替で御送金 の御方には當所から更らに受領證を差上ませんから振替金拂込受領證を後日の御參考に御保存願ます。

▲[illegible] [illegible]す一割増にして願上ます。

▲愛國婦人發行所 の振替口座番號は[illegible]新聞に掲載してありますが、東京一一一三[illegible]

▲お手紙の御住所御姓名は明瞭にお認め下さい 御轉居の節は、必らず新舊御住所御認めを願ます

愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政育兒 實驗談

●子供の教養日誌

豐橋　山内經子

私には四人の子供があります。長男は十八歲で、目下豐橋四中在學、二男は十六歲で、同三年生、三男は二男より三歲下で、土地の小學の六年生、四男は九歲で、同二年生です。長男と次男とは、先生のお宅へおあづけ致してあります。私、子供が生れますと、直に一冊の帳面を作り、表紙には『教養日誌』と書き、子供に關する重要なる事項は、洩さず時々記入致して置きます。夏季休暇、冬季休暇には、四人の子供を私の前に坐らせて一度づゝ讀んで聞かせますと、幼き折の事柄が、各自の頭腦に浮ぶと見え、頭を下げて靜肅に聞いて居ます。笑ふやうな處もあります。病床日誌のところなどでは、當時を追想して、私、讀みながら何時も涙を流します。子等は、いつも言を揃へて『お母さんはたいていの事では無かつたのねえ。』『お母さんが注意して育てゝ下さつたでこそ、兄弟一人も缺げず無事だ』と、嬉んで與れます。私、其時程嬉しい事はありませぬ。

此の教養日誌は、子等の獨立する日、母たる私の手より子供の手に渡す心得で御座ります。之れを受取つた時の子供はどんな感じが致すであらうと、一日も早く渡す折の來れかしとのみ祈つて居ます。

本紙の愛讀諸姉の中には、お兒樣をお有の方も澤山と存じますが、お互に子供の教育によく／＼注意を致して、家の爲め、皇國の爲め、少しくも多く利益になるやうに、子供を育てたいではありませぬか。

家政の實驗談 育兒の實驗談を募集致します、

家事經濟の執り方、臺所の注意、下婢の使ひ方、洗濯の爲方、漬物の漬方、品物の保存法、子供の躾け方、子供の衣服の造り方、おしめの取り扱ひ方、添寢の歌や子守の歌、子供に讀ませる書籍の注意、其の他何も家政と育兒に關し、有益と思召す事でも、有害と思召す事でも凡て實際に御經驗の御話が承りたいのであります。御文體は如何でも、唯判りさへすれば宜しう御座います、端書でも封書でも差支ありません。續々御投寄を祈ります。

愛國婦人發行所

▲岡部前會長の招待

去る五日は大雨後の快晴にて市内の狀況頗る好景なりしが愛國婦人會岡部前會長は當日午後五時より阿部會長を初め各理事監事及阿部東京支部長其他事務所職員を櫻田官邸に招待して懇話會を催せられたるが各自胸襟を開き懇談數時間に渉り餘興として佐藤左久の箏曲鎗田倉之助の尺八丸山與佐吉の三味線合奏あり食堂には蓄音器の設備あつて接待却々周到なりしと。殊に食後は有島理事岡部顧問馬屋原事務總長の謠曲獨吟あり一同大に交情を溫められ而して十時頃散會せられたり。

千代田香油

紳士も お孃さんも 奥さんも 薫りよき千代田香油に限るとの高評盛んなり

定價 特製 七十錢 大瓶 卅五錢 中瓶 廿五錢 小瓶 十七錢

東京馬喰町 發賣元 山岸三之助

赤十字院長 橋本子爵

●橋本 救世丸と胃腸病

赤十字院長橋本子爵の救世丸は最上の消化錠劑なり如何に頑固なる慢性胃腸病と雖も必ず全治す、最强の殺菌劑なるが故に肺結核病に最も有効なり、卓絶なる滋養劑なるが故に牛乳其他の滋養劑に勝り病後の衰弱に最も効あり

宮内省侍醫 岩佐男爵

●岩佐 壯婦丸と婦人病

宮内省侍醫岩佐男爵の壯婦丸は從來の陳腐なる漢法藥に非ず最も有効なる貴重藥にて調製し子宮病月經不調氣鬱動氣、逆上、腰痛、產前產後ヒステリー等婦人諸病の良藥なり、又めまい、頭痛、不眠、秘便、神經衰弱等には男女共に偉効あり

○救世丸壯婦丸は愛國婦人會總裁閑院宮妃殿下を始め奉り各宮殿下の御嘉納あり又た陸軍省兩本願寺等の御用藥として我國有史以來未曾有の名譽を辱ふしたる此の一事を以て尋常一般の賣藥に非ずして最も確實に最も有効なる事を證し得べ

○藥價兩劑共拾錢參拾錢七拾錢壹圓參拾錢壹圓八拾錢○効能書贈呈

○本劑は本舖又は愛國婦人發行所に於て會員諸君には一割引にて御取扱申可候

東京深川公園

本舖 合資會社 福井堂

電話長浪花五六九番 振替東京二三六六番

御婦人の寶

御婦人方が生涯無病でお過しなさるには月經の處置が最も大切な事は申上る迄もなく從來の樣に脫脂綿等を挿入なされては經水の滯るのみならず綿の纖が殘り乾度子宮病ヒステリ等の病源となり醫家の嘆かる事です特許安全帶は藤川藥學士發明消毒安全吸收力脫脂綿の數倍で博士の甚く賞用さるゝ月經時に重寶便利な如何程經水の多い方でも粗漏する事のない起居動作極めて安全なもので又產後や白血血痔漏等に妙です

市内は數種化粧品にて販賣數升小包料は一組金拾貳錢一組增毎に貳錢增し候

定價 安全帶特甲一筋壹圓貳拾錢乙八拾錢並四拾錢一筋にて二三年使用出來升 安全衣は一打入一箱特甲金六拾錢特乙金四拾錢

本鋪 東京市下谷區池之端七軒町四二 安全堂

關西一手販賣 大阪市西區阿波座上通一丁目二十二 洋々堂分店

四季の好飲料

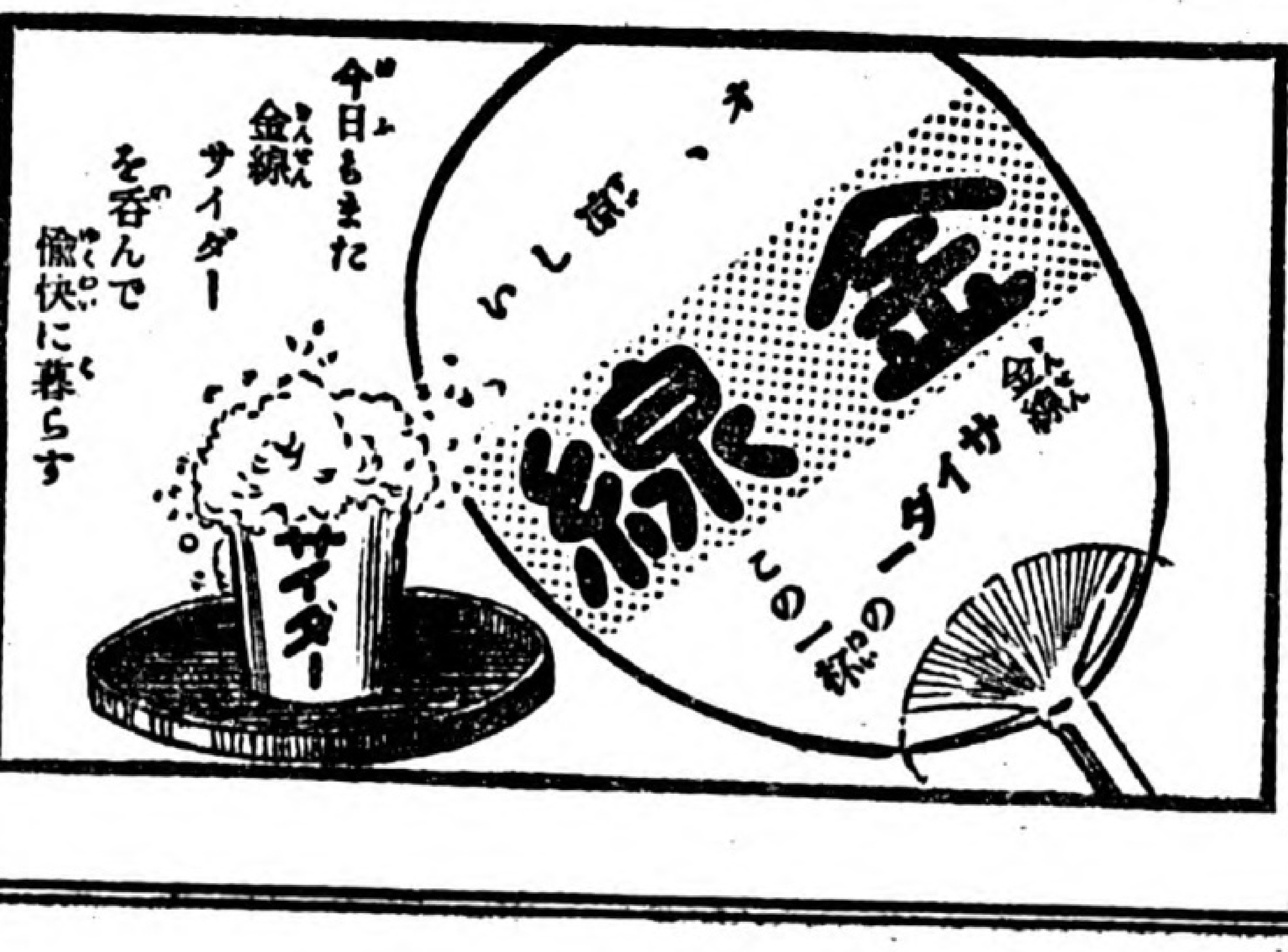
●チャリーサイダー
●チャンピンサイダ水
●レモンネード水
●ヂンジャエール
●食麵麭

食パン

帝國大學御用 チャリ合名會社

東京市京橋區南小田原町三丁目九番地 電話新橋一四二三番

贈答用の好適品



ニキビそばかす、なまづ、田蟲其他吹出物一切に特効ある藤本藥學士發見最新奇藥製劑發賣す郵券二錢封入者に該療法事無代進呈

東京本郷區東片町二九 振替口座東京七六二九 長田商會

ちゞれもくせも
一大奇方劑

本法は 女髮結師安部歌子 女史の多年實地研究したる秘法是迄の使用者を悉く滿足せしめたる一大奇法なり照會者は往復はがきにて申込あれ

東京麴町區三番町六七 小林濟世園

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

佐々木信綱先生選評

天 横濱市辨天通り四 鈴木伊都子
夕雨は遠き筑波をかくしけり早稲田は早苗とりも果ぬに
(評) 上句、雨にけぶれる筑波山の、やう〳〵隠れはてし初夏の景、畵のやうなり

地 備中足守町 林秀子
穂に出てなひかん秋の生先もさなへに見する雨の夕風
(評) やすらかにうたひ出られしかな。

人 横濱市山田町一ノ一三 後閑らく子
降る雨を事もなげにも少女等の歌うたひつゝ取る早苗哉
(評) 田舎少女の辛苦さこそと思ひやられて。

秀逸

さみたれのはれまもまたて賤の女は露の玉苗うゑわたすなり 三河 山内經子
早少女の菅の小笠はたそがれて夕雨けふる千町早稲田 岩代 長谷川吉野子
賤か女の苗とるひまををさな子のふくむ乳ふさに雨雫して 兵庫 三畑たか子
わか家は雨にけふりてみえねともはけみてけふもさなへとるなり 横濱 鈴木まつ子
げに雨は寶なりけり千町田につゞく早苗の色のゆたけき 麻布 志賀淑子
わか笠を泣く子にきせて乳やりて雨の山田に早苗とるしづ 岩代 爲田よしの子
若駒に早苗おはせて通るみゆ雨をはせゆく汽車そひの道 播磨 長田あき子

佳作

あめふりて水田もふかくなりぬれと早苗とる手はとめざりけり 岡山 西村長子
ふる雨なみのにしのぎてうたひつゝ聲いさましくさなへさすなり 同 西村清子
をやみなくふるさみだれのそめにけむみどり色ます小田の若苗 豊橋 平松いと子
しめやかにふるさみたれのたり〳〵に苗とる人のうたのきこゆる 岐阜 野村なか子
なれぬ身の雨にしめりし裳かゝけおほつかなくもとる早苗かな 赤坂 清水まつ子
かきくらしふる梅雨の雨の山を賤か手たゆくさなへとる見ゆ 京都 難波貞久子
千町田にうゑわたしたる早苗草ふるむらさめにわかみどりして 丹波 寺田もと子
いもとせか小笠ならへてあめすくろやまひのさなへとりいそくみゆ 長野 高橋起代子
あかたすきそろひの笠にうたふしも雨にぬれつゝ早苗とるなり 芝 夏子
山田もる賤にまけじと村人も雨をいとはで早苗とるなり 岡山 墨江、幸子
蛙なく聲かしましき雨の日もときおくれしと採る早苗かな 岡山 森島古野子
五月雨のふるもいとはで賤の女が秋をたのもに早苗とるなり 横濱 鈴木しげ子
ふる雨を小笠にうけて里人はいかにすゞしく早苗とるらむ 同 鈴木まつ子
すげ笠に紅のたすきの色ぬれてつゆに田植の少女美くし 麻布 濱子
けふ幾日ふる五月雨にそほぬれてうゑつけよし早苗とるらん 豊橋 都築悦子
この頃は水もあふれて早苗田の色増にけり雨降る中に 宮城 齋藤なよ子
たもとひぢすげの小笠のおもげにて雨ふるなかにさなへとるなり 岐阜 野村なか子
田植歌こゑ美しき花よめがあめ降る小田にけふも苗とる 岩手 渡邊豊惠子
小田の苗のびすぎぬらん少女子ら雨のはれまもまてとるなり 近江 壽江子
賤の女は菅の小笠もとりあへず雨もいとはて早苗とるらむ 芝 土師利根子
五月雨のけふる田面に少女らの歌おもしろく早苗とるなり 京橋 宇佐美こま子
五月雨に鳥羽田の早苗ふしたちて綠ゆたかになりにけるかな 大阪 室谷ひさ子
今日もふる雨と知りつゝ庵ちかきかと田よりまつ早苗採るなり 神田 伊藤みの子

鳴雪先生選

天 玉人も賀茂の流れに夕涼み 本郷三ノ八堀江方 栗原若葉子
地 兵庫縣赤穂町 田淵祥子
面白や風に流るゝ涼み舟 兵庫湊町一ノ一八九 三畑たか子
人 煎豆を袂に門の納涼かな

佳作

湯上りや夕すゞみする煽風器 愛知 土方梅の子
十弖の庭もきよめて夕涼み 熊本 かめ子
動くかと柳見て居る納涼かな 盛岡 原はる子
石ごろに腰打かけて涼みかな 兵庫 孔雀女
草ふめば清水出けり夕涼み
黎畑の上に月あり夕涼み 京都 寺田葉留子
月の下ほつれし髪の涼み哉 豊橋 都築悦子
流行の浴衣目につく納涼かな 三河 岡部廣子
月を背にする女あり納涼臺 宮城 齋藤芙蓉子
花活て鞣吹く緣に納涼哉 仙臺 武者はる子
湯上りの後姿や月涼し
すだれまく人美しや樓の月 長崎 相部芳子
あし分る艪の音はかろし舟一つ
夏の夜の秋はかろき涼みかな
夕濱に二三人立つ涼み哉 本郷 栗原若葉子

▲愛國文苑▼

◎和歌 織女契久(八月十日締切) 秋露如花(八月廿五日締切) 坂正臣先生選
◎和歌 海水浴(七月十日締切) 風告秋(七月廿五日締切) 佐佐木信綱先生選
◎俳句 夏休み(七月廿日締切) 蝸牛(八月五日締切) 内藤鳴雪先生選

▲愛國文苑▼

最近の學理に依る
最新の美容術
▼新式の化粧法▲

最新の學理を基礎にして最良の原料を選び最精の製法を用ゐて社會に提供したレート一式の化粧料は其の種類の一個々に就て見るも各々他に卓絶れた品質効用を有して居ますが之を併せ用ふときは更に言ふに言はれぬ獨得の妙味があります。此の卓絶したレート化粧料を用つて化粧をする其の方法をレート式化粧法といふので最も完全した新式の化粧法です。

素顔の時

紅白粉を用はず素顔で居るときには朝夕に洗顔又は入浴した後で乳白化粧水レートかクレームレートを薄く塗けて置きますと皮膚が滑かで軟和な弾力のある潤澤を持つやうになります是は美顔料として肌理を濃かに色艶を麗はしくする効力が多いからです。

併し化粧水とクレームとは何れを用ふが宜いかといふ疑が起るでせうが其は脂肪分の足りない荒れ性の人ならクレームレートを塗つてセーム革か柔かな紙で擦り込むやうにして拭き取り脂肪分の多い脂肪性の人なら乳白化粧水レートを少し塗つて擦り込むやうに均して置きます斯して居ますと脂肪の分泌作用が宜い加減になりますから顔が悪く光つて脂ぎるのバサバサして色艶が消えたやうに荒れるのといふことがありません。

比粧の時

化粧下には乳白化粧水レートでもクレームレートでも素顔の時と同じに其人によつて用ゐ其上へ濃化粧なら無鉛乳白レート白粉を塗け薄化粧ならレート粉白粉を塗け洋化粧ならレート水白粉を刷くのです而して其上をレート打白粉で顔直しをして置きますと化粧崩れのすることもなく又常にレート打白粉を帯の間に挟んで置けば脂肪が浮いたり汗の出たときに手早く顔直しが出來て汗押にもなります。

レート化粧料

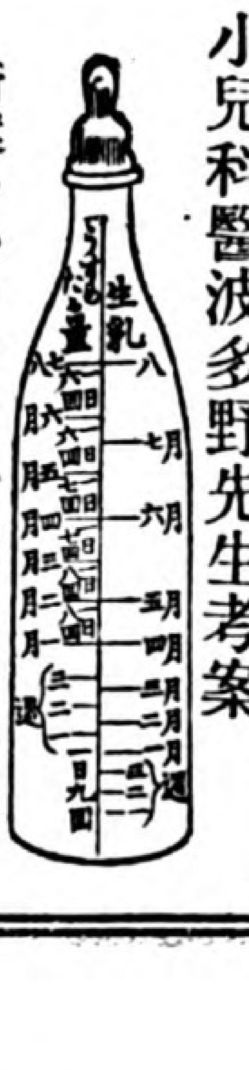
それで乳白化粧水レートは皮膚の營養を助けて自然の色艶を美しくする主能成分から出來て居ります其を精煉したクレームレートは脂肪を原料にして作つたものでないから他のクリーム類のやうに悪い臭氣もなく汚れを早めることもありません。レート白粉は純粹の無鉛で皮膚を害したり衛生に害を與へたりすることがなく殊に分子の極々細かい爲めに附がよく伸がよく平に附いて斑にならない特色があります。

レート水白粉は薄化粧に用はれ効能は煉白粉と少しも相違はありません。

レート粉白粉は洋化粧の如何にも冴えた化粧をするのに用ふものでクレームレートを薄く塗つてセーム革で擦り込むやうに拭き取つた上へ刷き付けセーム革で撫でゝ擦り込むのですから特にセーム革を添へてあるのは用意を周到にしたのです

レート打白粉は顔直しと汗押へとを兼ねたもので化粧崩れを防ぎ斑を直すに用はれる携帯用の便利な化粧料です

小兒科醫波多野先生考案



新案特許 はたの式哺乳器

此ノ壜ハ最モ完全ニ生兒ノ八ケ月間ニ應ジ牛乳ヲうすめる事ガ記シテ有リマスカラ此レ迄ニ無キ便利ナ壜デス
●はたの式乳首ハ母親ノ乳房ノ通リ大中小ノ三種アリマスカラ人ノ乳ヨリ牛乳ニ牛乳ヨリ人ノ乳ニ容易ニ代ル事ガデキマス誠ニ便利デハアリマセンカ
●煉乳(コンデンスミルク)ヲ御使用ノ方ハ煉乳計ヲ用ユレバ衛生上天下無比
●普通口金護謨管ノ附シタノモ有リ
●種類一號はたの式乳首付三號口金付
●價格一號三十五錢三號ハ二十五錢
●全國到處ノ硝子店藥店醫科器械店ニ有

發賣元 東京市日本橋區本石町三丁目八 理化醫科學用玻璃器械問屋 倭屋號 杉田藤太郎 電話本局二六五五

新案特許 酒井式 素人用 子宮洗滌器

專門家が素人用に發明せる最新洗滌器にて毎日宅にて使用すれば醫者の洗滌同一の効あり併かもあのつらい思ひなく至快も早く子宮唯一の根治療法であります價壹圓六拾錢送料八錢(説明書添)東京市本郷區金助町廿七番地大川商會

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

夏期最必需品
●東京地張雨傘
●流行日傘花傘
●輸出向絹張日傘
●諸國産雨傘
●座敷用澁紙
此敷物を使用せば更に蚤除粉を用ゆる必用なし

品質の精撰
弊店の商品は一々眞否を鑑別し製造は最優良の職工に命ず故に品質眞好也

價額の低廉
利は元にあり直接に製造元より仕入多額に商品を準備す故に價格低廉なり

○中元進物用として「傘」一本入及二本入の美麗箱入に調進仕候
○市内は電話又は葉書にて御申越次第無賃配達す

東京市京橋區中橋大鋸町七番地
傘桐油紙澁問屋　伏見屋
（伏）山本茂助
振替東京一四二九五　電話京橋二二六三六

●東洋一製造大販賣 卸し小賣
◉かや夜具 夏冬ざぶとん
外濠線駿河臺下停留場前
神田表神保町二
矢田本店
電話本局二〇一八番
市内無賃配達
諸官省御用（や）

●階上縱覽御隨意 珍柄高等品澤山有り
●綿質保險附 ●確實大勉強 ●正札引なし

胃病良藥
太田胃散
東京市長服町　太田信義

ハチ印
シャンペンサイダ
製造元　澁谷

醫院案内

◉小兒科 殊に營養障害
淺草下平右衛門町十七
内山小兒科醫院（電下二參六五）
院長ドクトル・メヂチーネ　内山好十

小兒科
醫學士　石塚保吉
赤坂區青山南町三丁目
電話芝三四七四番

産科婦人科小兒科
野中醫院
牛込區納戸町三六
電話番一〇四〇番

産科婦人科　天本醫院
下谷區仲徒町二丁目卅五番地
院長　醫學士　天本治
（入院隨意）（電話下谷二六六九）

◎産科。婦人科
◎内科。小兒科
森種太郎
小石川西江戸川二六
電話番町（一四二六）

腦神經精神病
東京赤坂　青山病院内
帝國腦病院
院長ドクトル　齋藤紀一
醫學士　望月温象
在獨逸　田澤醫學士
特電芝二七四五　電芝二六六五　電芝三四〇六

醫學博士　榊順次郎
醫學士　久保徳太郎
醫學士　田代謹二
毎日午前診察
日曜水曜午後婦人科的外科
火木土曜日午後泌尿器病及内科
●施療火木土午後自一時至二時
●施療姙産婦ヲ取扱フ
婦人科産科　榊病院
麹町區三番町三三（電話番町三〇三三）

内科診察 宅診午前及夜間九時迄 往診午後
麹町區四番町四番地（電話番町貳三八四）
醫學士　中山敏樹

耳鼻咽喉科
神田區美土代町一丁目十六番地
醫學士　榊田義衛
電話本局三一九〇

内科一般 午前宅診 午後往診
東京神田區美土代町三丁目十七番地
板垣亨
電話本局貳千九百七拾番

産科婦人科小兒科專門
四ッ谷左門町五番地
佐伯醫院
電話番町（二〇一六番）

凱旋サイダー

濱町　産科婦人科病院
日本橋區濱町三丁目七番地
電話浪花一六〇番
院長醫學士　小林八十七
醫學士　大瀬貴明
醫學得業士　杉原格藏
醫學士　佐野綱次郎

内科橋田病院（錦町三丁目電車停留場側）
●隔離室設備（診察午前 入院臨時）
院長　醫學士　橋田茂重
病院　神田錦町三ノ一九（電本二三三九）
自宅　牛込甲良町一一（電番一九六）

大黑天印　宮崎葡萄液
◎衛生を重ずる人は宮崎葡萄液を絶好の飲料として愛用せらる
●長井、下山兩博士の指導の下に創製せる本液は滋養に富める葡萄の純粋果汁なれば他の飲料に比類なき卓越なる特色を有し毫も酒精分を含まず芳香美味にして衛生に適し日常之を飲用せば消化力を助け筋肉を肥し滋養補血に偉大の効あり
宮内省御用達
發賣元　東京日本橋通旅籠町　甲斐産商店　宮崎光太郎
振替貯金口座一九三七番　電話浪花八七〇番

…（診察時間）…
○産科、婦人科 入院應需
月、水、金午前　橋爪病院（浪花二六〇番）（日本橋區龜島町一の廿九）
毎日二時ゟ五時迄　自宅（下谷二四八七）本郷區眞砂町十五番地
醫學士　橋爪哲造

内田病院
淺草區新福井町二（瓦町電車停留場際）
病院落成に付隨時入院の需めに應ず
小兒科專門
院長醫學士　内田愼太郎
副院長醫學士　瀧原五郎
（午後診察）（電話下谷七一八）

◉院長ドクトル　木村順吉
京橋卅間堀一丁目角（電話京橋一六七〇）
婦人科産科　木村病院

●眼、耳、鼻、咽喉、頭痛等の諸病に苦しむ者は速かにアクチナを試用せられよ
奏効如神（定價送料共十二圓）
營業品目　電氣醫療器　懷中電燈　探見電燈　其外電氣器具一式
（營業目錄進呈）
本店　東京市京橋區尾張町二丁目（銀座通東側）電話新橋四一二二番（振替東京一八四七三）
支店　大阪市東區心齋橋筋博勞町南入西側　横濱市吉田町一ノ二九（電話一九三二）
サンデン電氣商會

◎産科婦人科
芝明船町十九虎門外
電話芝二六四二番
櫻井克巳

腦神經精神病科
東京龜戸町電話浪花二五五二
加命堂腦病院

御扇子
愛國婦人會御用達
京都寺町五條下ル東側
御影堂　持阿彌

愛讀者諸君へ謹告

▲新聞の代金 をお送りになる時は、振替貯金が一番安全確實で、紛失や未着の恐れもなく其の上郵便賃もいりませんから、御便利でございます。

▲振替で御送金 の御方には當所から殊更に受領證を差上ませんから振替金拂込受領證を後日の御參考に御保存願ます。但振替で御送金になる時は、拂込口座登記料として金一錢必らず御添へ願ます。

▲郵便切手 …す一割増にして願上ます。

▲愛國婦人發行所 の振替口座番號は東京一二一三

▲お手紙の御住所御姓名は明瞭にお認め下さい御轉居の節は、必らず新舊御住所御認めを願ます

愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

LACTAGOL
ラクタゴール

無乳產婦の福音！

本品ハ「ベックマン」博士ニ據リテ報告セラレタル無臭美味毫モ副作用ナク蛋白質及脂肪質ノ多量ヲ含有セル乳汁ヲ分泌セシムル新藥ニシテ本邦ニ於テハ「ドクトル千秋雄雌郎氏」ニ據リテ既ニ二十六人ノ產婦ニ試用セラレ其症ニ據リテハ服用ノ初日ニ於テ効能ヲ發揮シ他ノ場合ニモ七八日間連服セシムレバ完全ニ奏効ス

(用法容易)「ドクトル千秋氏」ノ報告印刷物御要求ニ從ヒ無代進呈ス

一日用量十五瓦ニシテ百瓦入壹函代價參圓也

乳汁分泌催進劑！

東京市日本橋區本石町三丁目
藥種問屋 中村瀧次郎
電話本局{長八六九 三五六九番}
振替貯金口座東京九四三三番

實用新案特許 衛生「おしめいらず」

一號六十錢 二號五十五錢 三等五十錢 郵送料金八錢

▲此おしめいらずは裏表を白ネルにて仕立て其中をゴム引となしたるものなれば大小便の漏れたり又は浸出す事なく殊に取外し便利なる腹掛も附きおれば寢冷風邪等小兒に有勝ちの病氣を防ぐに特効あり旅行には携帶便利にして出產祝ひの御進物品として至極適當なり

新案特許出願中 安心月帶 一個金九十五錢

▲安心月帶はおしめいらずを別仕立になしたるものにて月經の時に之を使用せば立居に些かの粗相なく平時は圖の如く腹部のみ取外し腹卷とする便利あり夏の寢着に腹部の衛生に注意する方に必要又洗濯には分解自由輕便なり

日本橋區村松町十二番地
製造發賣元 ㋕河善商店
(長電話浪二七九三番振替口座二三九一)
特約店 上野廣小路松坂屋いとう呉服店 京橋區銀座二丁目 發明館
右の外全國到處の洋物店足袋店にあり
△特約販賣希望の方は至急御申込あれ

三

株式會社 第三銀行

東京市日本橋區小舟町
電話浪花 四四二 四五一 三七七七 四五六〇

創立 明治九年
資本金 五百萬圓
積立金 三百廿五萬圓

監督 安田善三郎
頭取 安田善四郎
營業部長 清水虎吉

全國送金無手數料
其他銀行一般の業務便宜に取扱可申候

毛生液

はげ、脫毛、薄毛、惡き生際人試よ

本劑は第一毛をはやし、ぬけ毛を止め、髮の毛はへぎは眉毛髭等の薄きをこく生し皮膚病でき物ヤケド跡はげ其他あるべき所毛なきに用て毛はへる事請合

●藥價卅錢五十錢特製一圓二圓送料六錢

本舖 東京馬喰町三丁目 大阪平野町二丁目 山崎榮三郎 本店 擴張

實捌全國至處藥店化粧品店に有 ◎僞物御注意

皮膚諸病 梅どく りん病 消渇 ぢ 田蟲症等
血の道 子宮病 月やくとまりたる病 子なき婦人
にきび 色の黑き人
そばかす あれ 早生 生殖器諸病 神經衰弱症
陰萎 遺精 夢精 早漏 發育不充分症 記憶力減衰 わきが

▲病狀を記し郵劵四錢を送れば其病を速治する專門醫中央醫院々長處方の特効新藥說明書を送る

東京淺草瓦町廿八 電車停留場横 中央藥院

皮膚 梅どく りん病 わきが 生殖器諸病 ぢ
東京淺草瓦町廿八 朝八時より九時迄 中央醫院

肥滿病の福音

多血症●脂肪過多●中氣●便秘●酒ぶとり凡てふとりすぎた人 やせて 中肉美容となる最新案往復はがきにて御申越あれば詳報す

東京市牛込區赤城元町 池田製藥部

苟も美容たらんと欲する諸姉は先づ

ラーロラ
BEETHAM'S
Lait-Larola
を愛用せざるべからず

此化粧用美容劑は日光、風、硬水に堪る樣皮膚を保ち日焦アセモ、アレ赤顏ソバカス等を防ぐに尤も妙にして且皮膚を柔かく滑かに色白く若しくす四季を通じて用ゆれば常に美しき皮膚を保ち得らるべし

製造所 英國セルテンハム、エム、ビーサム、エンド、サン商會

各地著名の化粧品店にて賣捌く

M. BEETHAM AND SON.
CHELTENHAM, ENGLAND.

報德會編輯部編

三版 斯民講壇第壹編 **修養の燭光**

◎紙數三百七頁 小形金文字入美本◎實價金貳拾錢 郵稅四錢

要目

◎正を踏んで懼るゝ勿れ ルーズヴェルト君◎苦心の跡を敬すべし 侯爵德川賴倫君◎風靡せんことを要す 內務省地方局長床次竹二郎君◎偉人の記念と遺蹟の保存 文學博士三上參次君◎デップリした大きな國民たれ 農學博士七法學博士新渡戶稻造君◎健康は腹部の鍛鍊を要す 醫學博士二木謙三君◎床しい溫かい女德を磨きなさい 國府種德君

新版 斯民講壇第二編 **忠孝節義**

本書は眞龍齋貞水氏が最得意とする講談を特に依賴し速記にて收むる所主家再興の忠臣あり、至孝鬼神を泣かしむべき孝子留松あり、節婦百姓忠四郎の妻あり、義士松下善右衞門あり義商天野屋利兵衞以て津々たる興味の裡自ら世教に資する所あらんことを期す

新版 斯民講壇第三編 **歐米之新彩**

◎上卷(忠孝之卷)既刊◎下卷(節義之卷)七月中旬發行 實價各金貳拾錢郵稅各四錢

駸々として日に月に進んで止まざるは歐米社會の現狀なり、本書を收むる所悉く新歸朝者の歐米觀なり、手島東京高等工業學校長、眞野實業學務局長、小河滋次郎博士、中川內務書記官、山崎愛知縣立農林學校長、田所本部省參事官其他の專門に關する精透なる觀察は以て我國を磨くの他山の石たるものあらん

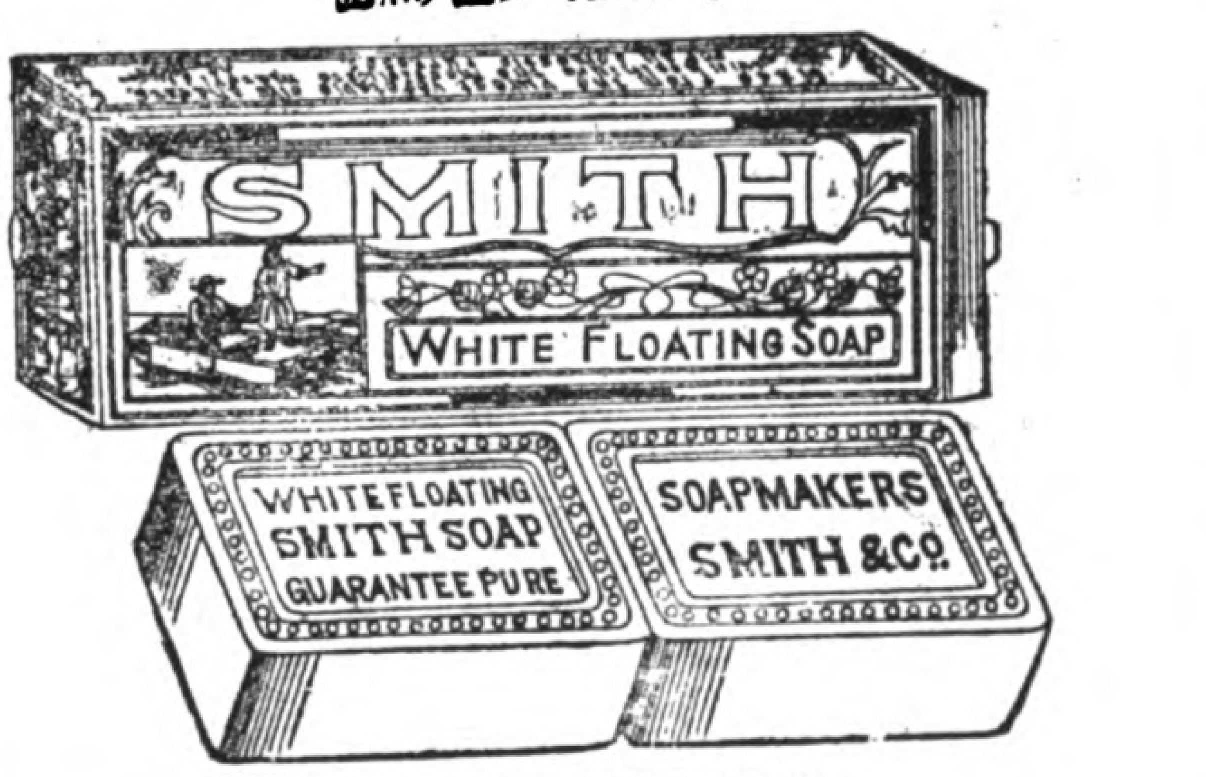
發賣元 東京市神田區表神保町 東京堂
振替貯金口座東京二七〇番

音聲ごもる人

に種々療養効なく御困りの方へ全治新藥往復はがきにて御申込あれば自宅療法說明書進呈す

東京牛込區赤城元町三三 好生藥院

水ふうん
スミス石鹼



浮石鹼を撰み玉はゞ

品質純良にして効用特殊に芳香薰しく且つ能く實用に適し經濟的にして又體裁優美價格亦低廉なれば家庭用又進物用に最も適せるものなり

浮石鹼を撰み玉はゞ二個續き美麗なる紙函入

スミス浮石鹼を召せ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人取次販賣所
東京市京橋區桶町三二番地
田口組（電話京橋九三二）

資本金千八百萬圓

東京京橋區木挽町
株式會社 十五銀行
電話新橋 一三〇番 一五三〇番 三一九三番

同日本橋區新乘物町
同 日本橋支店
電話浪花 一九〇一番 三二七四番 三五〇五番

一定期預金 六ヶ月以上年四分
一當座預金 日歩五厘
一特別當座預金 同八厘

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話（特）本局六七三番
電話本局四九八番

定期預金 六ヶ月 年四分五厘
當座預金 百圓に付日歩 五厘
特別當座預金 同日歩 九厘

頭髪の薄き、惡しき、拔毛に苦しむ

●毛髪洗滌液 ペトロール、ハーン

は目下歐米到る處に高評嘖々たるものにして毛髪を濃厚にし、フケ拔毛を止め、光澤を増し且つ柔軟ならしむ、而かも馥郁たる香氣あり使用復永く快感を覺えしむ眞に神妙なる逸物なり（各地有名なる化粧品店にあり）

代價 小瓶一圓廿五錢　大瓶二圓

横濱市山下町七十番　エー、ハイム商會

評判の善惡は商業上最も肝要なるものです世界各國到る處でシンガーミシンの評判はかうです。

「あれは一番善い」

此評判を得たのは最上質のミシンを使用者へ六十餘年間直接販賣をして居た結果であります。

此の世上一般の大好評を永遠に保ち行くことはシンガーミシン會社唯一の目的であります

シンガーミシンの無料試用を日本國中到る處の市や町にあるシンガー分店の何れへなりとも只今御申込み遊ばせ

本機の御徳用は實に廣いものです而も時と勞力と財の大節約を致します

弊社の分店は
東京市京橋區銀座（電話新橋三四六六）
大阪市南區心齋橋筋（電話南九六九）
京都市三條通リ柳馬場
横濱市吉田町一丁目（電話三四七六）
金澤市下堤町
名古屋市西區玉屋町
廣島市細工町
福岡市橋口町
仙臺市名懸町
札幌區南一條西五丁目
神戸市長狹通リ

其他日本國中到る處の市や町にあります

横濱市山下町二十三番地
シンガーミシン會社日本中央店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

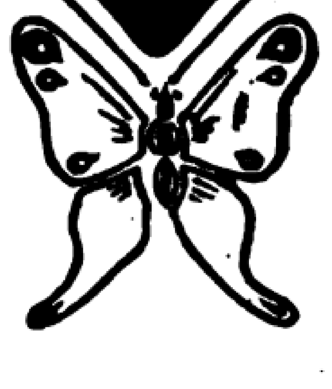
水晶おしろい

すきとうりたる水にて付るさ白くなる流行の薄化粧料にして目立ぬ故男子にも用ひられる

定價 五拾錢 貳拾五錢 拾五錢

本舗 東京 大和屋

御園化粧品



御園化粧品は學理と實驗とを基礎として製られた衛生の化粧料で効能の實證は一箇月續けて御使用なれば慥に分ります

本邦唯一 優良化粧料

御園化粧法の順序は肌膚を整へるに御園四季の花、白粉下に御園クレーム、白粉は煉白粉、顏直しは打白粉御園撫子等

各女學校御用

東京市日本橋區横山町一丁目十六番地 合資會社 天野卯兵衛商店 電話浪花一六四三番 振替東京四九七〇番

シナルコ

最新四季の好飲料

歐米各國に於て一ヶ年一億萬本の需用ある

原料は獨逸國ビルツ博士の發明せる新鮮なる果實汁にして三ツ矢特有の平野水さ天然炭酸瓦斯にてこしらへた最上等の衛生飲料なり…

日本赤十字社病院御用達
蒸熱殺菌牛乳販賣所

本店 麹町區永田町二丁目
乳牛場 豐多摩郡千駄ケ谷町

鈴木牛乳店

電話新橋一九九五 振替口座二四二四

一弊店の蒸汽殺菌牛乳は最良の牛乳を壜詰の儘一定の熱度と時間とを計りて殺菌したるものなれば滋養成分の完全なるは勿論消毒後開封せざるを以て黴菌等の侵入する事なく又長時間腐敗の憂なきは壜詰殺菌牛乳の一大特色なり

暑中御贈答品

絹 麻 綿 ハンカチーフ

東京市日本橋區ふきや町 中西儀兵衛 電浪七百番

家庭の一大寶典

赤堀料理講義録

奥様お孃様方は是非御一讀遊ばせ

科目（▲和洋支那料理法▲和洋菓子製造法▲裁縫▲造花▲病者の食物▲食物化學▲家政學▲小兒の食物鑵詰料理及び家政上に於ける名家の講話）

愛國婦人會員に限り 半ヶ年 金一圓半 一ヶ年 金三圓

夏期講習會生徒募集

期 八月一日より同二十日迄
▲講習料一科目二圓五十錢
▲申込七月三十日限

東京日本橋區本銀町一ノ一 赤堀料理教場 振替口座東京一三〇〇三番

宮內省及賞勳局各府縣御用達

愛國婦人會御用

金銀木盃調製所

日本橋區新材木町十九番地 新城猪之吉商店 電話浪花參參貳八番

別染すゐなゆかた
めりんす友染新形
いせざきめいせん
其外中元御進物品
東京人形町通よし町
赤のれん
おむなや本店 電話四三四五
向ふまへ
おむなや めりんす店

愛國婦人廣告取扱
神田三河町一ノ一九 博報堂
京橋區宗十郎町一七 正路喜社
愛國婦人海外廣告一手取扱
京橋區南槇町七 大興社
京橋區南紺屋町一 一星社
神戸市元居留地仲町三八 東洋廣告取次會社
神田須田町廿七 金蘭社
京橋區 廣告社

明治四十四年七月十五日發行（毎月二回一日、十五日）
（定價金三錢五厘 一ヶ月金七錢郵税不要）廣告料一行金六拾錢
發行兼印刷人 山澤俊夫 編輯人 竹內貞三
發行所 東京麹町區飯田町 愛國婦人發行所 ●電話番町千七百四十五番 ●同五百二十番
印刷所 東京市小石川區久堅町 博文館印刷所 ●振替貯金口座東京壹壹三八一番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附錄 愛國婦人會會報

本部記事

●會告

愛庶第二〇八號

各支部
朝鮮委員本部

通俗教育上に資する爲め映畫寫眞圖畫等寄贈相受度旨別紙の通り岡田委員長より依頼有之候就ては貴支部内に於て適當のもの有之候はゞ本會本部へ御送付相成度取纏の上寄贈取計可致候此段及御通牒候也

追て本文該當物にして一個より無之爲寄贈難被致候も教育上に資する多大と御認めのものは先以て其品目のみ御通報願度此段申添候也

明治四十四年七月六日

愛國婦人會

通俗第四號

拜啓陳者通俗教育調査委員會は御承知之通本年勅令第百六十五號通俗教育調査委員會官制に依り廣く通俗教育に關する諸般の事項を調査せんが爲設けられ差向昨今通俗教育上適切なる幻燈及び活動寫眞の映畫等選擇中に有之候就ては貴會御所轄部内に於て右目的に該當すべき映畫寫眞圖畫等御備付のもの御差支なき限一通づゝ御寄贈被成下候はゞ斯種教育の施設上利益不尠儀と存候間可然御配慮相煩度右得貴意候敬具

明治四十四年六月廿三日

通俗教育調査委員會
委員長　岡田良平

愛國婦人會御中

追て本文通俗教育上適切なる映畫等と認めらるべき種類の概目左記御參考の爲申添候也

記

一、國民道德に關する事項
二、國家社會及家庭に關する事項
三、歴史傳記及物語に關する事項
四、美術音樂に關する事項
五、地理理科に關する事項
六、拓地殖民に關する事項
七、農業、商業及工業等諸般の實業に關する事項
八、軍事戰役に關する事項
九、衛生に關する事項
一〇、交通運輸及通信に關する事項
一一、海洋に關する事項
一二、其の他通俗教育上適切なる事項

●有功章贈與

功績に依り三等有功章贈與（六月二十二日）
臺灣支部臺南幹事部幹事　楠なを子
同　同　曾爾よし子

功績に依り二等有功章並賞狀贈與
臺灣支部幹事　服元豐子

功績に依り三等有功章並賞狀贈與
臺灣支部幹事　村上克巳子
同　後藤澤子
同　市來なり子
同　中島藤子
同　野村せん子
同　安田喜代子
（以上六月二十三日）

●謝狀贈與

木杯一組　石川支部能美郡白峯村　淺野不加之
同　同　栗津村　小田忠吾
同　同　苗代村　池本作平
同　同　大杉谷村　喜多仁右衛門
同　同　白江村　東出太平
同　同　久常村　田中覚二
木杯一個　石川郡濱津村　高木新六
同　同　山島村　久田榮三郎
同　同　旭村　立野兵三郎
同　同　大野村　桑澤嘉一
同　同　鞍月村　宮野五郎右衛門
同　同　弓取村　太田次一
同　同　上金石村　唐桑三郎
同　同　二塚村　池田太郎
扇子一本　同羽咋郡羽咋町　林みよ子

功勞に依り特別謝狀並頭書の通り贈與（以上六月九日）

婦女鑑一册　新潟支部南蒲原郡幹事　佐々英子
同　同古志郡同　鈴木とり子
同　同刈羽郡同　布施芳子
同　同　井上諒影子
同　同　安津八重子
同　同　月橋さい子
同　同　塚野くし子
木杯一組　同西蒲原郡松尾村委員　岩崎銀平
同　同森村同　吉田銀七
同　同栗生村同　和田悌四郎
同　同古志郡栃尾町同　大崎二六郎

木杯一個　同西蒲原郡内野村補助委員　清水實
同　同角田村委員　大越民藏
同　同浦濱村同　倉地清
同　同升潟村同　小林喜三郎
同　同峰岡村同　川口左文
同　同月潟村同　曾山志計雄
同　同西蒲原郡役所屬　服部角二
同　同古志郡北谷村委員　井上戸久治
同　同山本村同　鈴木義延
同　同栖吉村同　水澤治平
同　同東谷村同　川上經太郎

功勞に依り特別謝狀並頭書の通り贈與（以上六月十三日）

木杯一個　福井支部敦賀郡幹事部事務員　山田信次郎
扇子一本　同幹事　和田すい子

功勞に依り特別謝狀並頭書の通り贈與

福井支部　柳橋作次郎　同　山本九二三郎
同　柿谷三右衛門　同　宮多村謙吉
同　原田長四郎　同　藤田函作
同　松村安吉　同　柴田仁兵衛
同　千猪太郎　同　岩崎巻正
同　上山藤吉　同　小柳虎雄

功勞に依り第一種謝狀贈與

福井支部　槻本市太夫　同　山下市松
同　古澤眞重　同　藤井俊太
同　四山了圓　同　河田貫三
同　土屋利隨　同　山田政吉

功勞に依り第二種謝狀贈與

福井支部　山田やゑ子　同　小川迎信
同　吉川こま子　同　村田しな子
同　梅村幸子　同　住田さと子
同　植山うた子　同　古塚この子
同　野嶋ゆき子　同　田中りよ子
同　光友すみ子

功勞に依り第二種謝狀贈與

福井支部　山本正常　同　澤田ふで子
同　澤田やゑ子　同　家倉つき子
同　辻つれ子　同　中村しゐ子
同　郷田きん子　同　大和田しかん子
同　河田うた子　同　天野ゆす子
同　磯部しつか子　同　四野まい子
同　川邊なりを子　同　稲倉ぬ子
同　寄多村よみ子　同　安田きん子
同　協坂いよ子　同　清水友吉
同　須賀しみ子
（以上六月十六日）

功勞に依り特別謝狀並頭書の通り贈與

木杯一個　佐賀支部杵島郡有明村委員　小野元市

功勞に依り特別謝狀並頭書の通り贈與

扇子一本　朝鮮鏡城委員部副長　平沼嘉子
婦女鑑一册　同委員　千葉久子
同　同　平岡たきお子
同　同　三浦けさい子
同　同　酒田さい子

●集報

▲評議員會　去る六月二十八日午後一時より評議員會開催あり、阿部會長、濱尾副會長、三輪田、有島、關、古市、高木、山脇、丹羽の各理事並に岡部、岡田、渡邊、南部、柳谷、仁杉の各評議員出席千葉支部外數支部に於ける擴張費補助の件に就き協議ありたり。

▲明治四十四年度定期救護金　本年度軍人遺族並に癈兵定期救護金各支部配當額は左の通り決定したり。

北海道支部	金八百四十四圓
東京支部	金二千九百三十二圓
京都支部	金千四百六十一圓
大阪支部	金二千六十四圓
神奈川支部	金千五百九十二圓
兵庫支部	金三千二百二十八圓
長崎支部	金七百八十六圓
新潟支部	金三千百卌
埼玉支部	金千四百六十二圓
群馬支部	金千四百一圓
千葉支部	金千四百七十四圓
茨城支部	金九百十八圓
栃木支部	金八百八十二圓
奈良支部	金八百七十一圓
三重支部	金二千二百二十二圓
愛知支部	金四千三百五圓
靜岡支部	金二千六百四十九圓
山梨支部	金二百七十一圓
滋賀支部	金千六百十八圓
岐阜支部	金三千四百六十三圓
長野支部	金二千三百四十九圓
宮城支部	金千四百六圓
福島支部	金千四百五十三圓
岩手支部	金千四百二十八圓
青森支部	金千四十八圓
山形支部	金千三百[illegible]圓
秋田支部	金千[illegible]百五十五圓
福井支部	金千五百十四圓
石川支部	金二千八百四十四圓
富山支部	金二千三百六十一圓
鳥取支部	金八百六十一圓
島根支部	金千三百十四圓
岡山支部	金二千二百十四圓
廣島支部	金二千七百六十九圓
山口支部	金千四百七十二圓
和歌山支部	金七百七十一圓
德島支部	金千七百二十七圓
香川支部	金千七百七十圓
愛媛支部	金二千六百二十一圓
高知支部	金千百四圓
福岡支部	金二千二百六圓
大分支部	金九百七十五圓
佐賀支部	金九百七圓
熊本支部	金千九百五圓
宮崎支部	金千二十八圓
鹿兒島支部	金千二百三十八圓
沖繩支部	金二百五圓
函館支部	金九十四圓
計	金七萬九千九百九十一圓

地方記事

東京支部

▲幹事會　去る三日午後一時より幹事會開催、阿部支部長外五十名集合、新會員募集の件に就き種々協議し、終りて文學博士前田慧雲氏の講話あり、午後四時散會したり

長野支部

▲長野市幹事部設置　當支部内長野市は是迄支部の直屬にして幹事部の設置なかりしが今般都合により幹事部を創設し長野市幹部の名稱を附し支部構内に設置したり

▲事務員協議會　去る六月十九二十日の兩日に渉り十七幹事部事務員召集の上左記の事項に付き協議會を開催せり一人の缺席者なく滿足に閉會せり、

●協議事項
一、會員增募に關する件
一、年醵金整理に關する件
一、軍人遺族並に癈兵現況調査に關する件
一、幹事部各町村に名稱を冠するの可否
一、會員門標作製の件

●注意事項
一、會員並に贊助員異動に關する件
一、定期救護金正當額收證送に關する件
一、年醵金並に贊助金送納に關する件
一、決算書提出に關する件
一、幹事部基本金設定の件
一、幹事部に於て軍人遺族並に癈兵を慰問開始の件
一、建築寄附金募集の件
一、毎年一回幹事部事務員協議會開催の件

尚當日大山支部長の告辭左の如し

愛國婦人會の旨趣目的等に關しては今更ら申す迄もなく戰時並に平時に於ける軍人遺族並に癈兵の救護にあるは論を俟たず由來時に於ては各人心に當然憤慨になし同情の念尤も厚く救護の道は各種講ぜらるれども一度平和克復するや年と共に人心に浮薄に流れ顧慮の念漸く斷へ施設遂に後を絶たむとするの傾向あるは實に遺憾に堪へざる處なればば同情心の喚起を促すは實に我が會の爲すべき急務なるを信ず昨今醵金未納の巨額に上れる又增員遲々として振はざるが如き諸種の事情あるべしと雖も主として國民同情倦怠に其因すと云はざるべからず夫れ世は駸々乎として進み生存競爭は益激甚を加ふ一度眼を下級貧民に注がむか窮狀悽慘見るに忍びざるものありされば先般畏多くも聖上陛下には深く窮民の現狀を軫念あらせられ巨額の資を下し賜ふ又近くは濟生會の設立を見るに至りて目下急要の施設なるを認められたり是を以て我會も亦是に鑑み益救護の道を講じ以て聖旨の萬一に副ひ奉らむと欲す然るに本部會員數漸く一萬八千九百餘人女子人口百人に比して二人七分五厘にして全國支部中其第三十一位にありて未だ全國平均數にも達せざるの現狀なり又年醵金整理の狀況に至りては未納金一萬九千八百餘圓の巨額に達し總會員一人當り一圓十八錢に上れり殊に救護事實に至りては勿論斷然の如き賑恤の下にあり本年度より良好なるを得ず即ち救護一人平均三圓の少額に過ぎず實に本會所定の限度に達する殆ど其半に過ぎず而も外は以て互に脱せざる內は以て爲すべきの事復甚多し然るに今や世情民心既に述の如し一に各位の格外なる御援助に俟つに非されば如何ぞ其目的を達し得べき宜しく協心戮力一計畫を立て漸次會員をして務めて會の了解を固め且つ一面篤志者の入會を勸誘して速かに本會の發達を圖らしめ而して名實兼備の功を收むるに至らんことを希望して止まざるなり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛媛支部

▲遺族癈兵生業補助

愛媛支部管內戰死及準戰死者の遺族及癈兵に對する救護に付ては從來定期の外臨時救護をなす等支部資力の許す限り擴張實施し勉めて本會の旨趣に適合せんことを期しつゝありしも贈與の金額寡少なるを以て單に一時の急を救ふに止まり一家生計を扶助するには不十分の感あり故に戰死準戰死者遺族癈兵生業補助規定を設け其の規則に依り支部經濟の許す範圍內に於て定期救護と相待つて之を施行し生計窮困者を永遠に救濟したしと愼重協議の末左記六ケ條を設け去る明治四十二年十二月四日會長宛是が承認を稟申したりしが翌四十三年二月二日附を以て會長の承認を得たるにより早速此の規定を實施し遺族並に癈兵の生業補助に着手したるが今昨四十三年度に於ける實施成績を擧ぐれば左の如し。

因に此の生業補助は本年度も亦繼續實施の計畫を以て調査中なり。

●愛國婦人會愛媛支部戰死準戰死者遺族癈兵生業補助規定

第一條 本規定に於て遺族と稱するは軍人恩給法第二十七條第一號又は第二號の遺族扶助料を受け若くは之を受くべき資格ある者を云ひ癈兵とは同法第九條第一項乃至第四項に該當する者を云ふ

第二條 戰死者準戰死者遺族若くは癈兵にして本會の規定に依り救護を受くべき資格を有する者に限り生業補助をなすものとす

第三條 本規定に依り補助するものは概ね左の各號に依る。

一、農作をなさんとするも農具を調辨し若くは修理し能はさるもの。

二、工業をなさんとするも之に必要なる器具を調辨し若くは修理し能はさるもの

三、商業をなさんとするも資本に乏しきもの又は商業に必要なる器具を調辨し若くは修理し能はさるもの

四、漁業をなさんとすするも漁具を調辨し若くは修理し能はさるもの。

五、勞働をなさんとする人も必要の器具を調辨し若くは修理すること能はさるもの。

六、其他右に準するもの。

第四條 生業補助の金額は本會救護規助第十一條及第十四條の範圍內に於て之を定め現金又は現品を以て贈與するものとす。

第五條 幹事部長は遺族又は癈兵の生活狀況を調査し生業補助を要するものあるときは其事情を詳具し(現況調査書添付)每年四月末日迄に支部長に稟申するものとす。

第六條 定期救護を受くる者に對し生業補助をなすときは定期救護を停止す。

第七條 補助要求の金額支部豫定の金額を超過するときは次年度に於て補助するものとす。

明治四十三年度 愛國婦人會愛媛支部 生業補助金贈與人名表

金額	郡市町村名	生業資補助交付條件	兵種官等	戰死及準戰死者癈兵氏名	續柄	被補助者氏名
三〇圓	宇摩郡川之江町	機織用器具及糸類購入資金	輜輸	谷延一	母	谷しげ
三〇	同	同上	步上	横內筆吉	母	横內せき
三〇	金砂村	日用品販賣兼營業資金	步二	藤原福次		本人
二五	新居郡西條村	豆腐製造用器具購入及該營業資金	憲伍	曾野菊松	父	曾野寛次
二五	大保木村	飲食店用器具購入及該營業資金	輜輸	伊藤喜代一	母	伊藤また
二五	同	野菜及果物類行商に要する資金	同	高橋金作	母	高橋せい
二五	周桑郡國安村	小間物行商に要する資金	同	金子源十郎	長男	金子平右衛門
三〇	楠河村	漁船漁具購入資金	步上	松木友三郎	父	松木秀六
二五	小松町	飲食店に要する器具購入及該營業資金	同	眞鍋竹次郎	父	眞鍋市次
二五	同	大工職に必要の道具類購入資金	步一	首藤春吉	父	首藤惠四郎
二五	三芳村	小間物行商營業資金	同	豐田春一		本人
二五	越智郡波止濱町	菓子店に必要の器具及該營業資金	同	松島松太郎	妻	松島りん
二五	同	耕作上用ふる牛馬屋建設資金	輜輸	阿部長三郎	父	阿部初五郎
二五	九和村	耕作上必要の牛購入資金	步一	鶴川鶴治	妻	鶴川ともよ
二五	東伯方村	煙草販賣業及雜品資金並戶棚購入代共	砲輸	田窪音市	妻	田窪ます
二五	同	農具及肥料購入資金	步上	田窪銀太	妻	田窪いく
三〇	同	ミシン器械購入及傳習資金	一水	村上豐治	母	村上かつ
二五	盛口村	農作上有用なる牛購入資金	步一	藤原喜惠二	妻	藤原あきの
二五	清水村	紛類行商必要の器具購入及該營業資金	步上	日淺幾治	父	日淺新治
三〇	同	菓子其他雜品營業資金	步一	富田竹治		本人
二五	鴨部村	農具及肥料購入資金	砲一	土屋筆一	父	土屋要作
二八	温泉郡久枝村	高機及附屬品の購入金機業資金	步上	大森銀太郎	父	大森金平
二一	河野村	中大荷車一臺等購入資金	輜輸	河野十藏	妻	河野すが
二九	同	犢牛一頭購入資金	步上	渡部惣五郎	長男	渡部綱一
二八	同	高機及附屬品購入並機業資金	步一	岡本鐵太郎	妻	岡本ぎん
三〇	北條町	漁船及附屬品等購入資金	工一	松本伊之助	父	松本仲次
二八	味生村	高機及附屬品購入並耕業資金	步一	關家豐五郎	母	關家かれ
二九	生石村	犢牛一頭購入資金	步上	清水七五郎	父	清水爲五郎
二六	同	筵織機械購入資金	輜輸	乘松兵五郎	父	乘松長藏
三〇	石井村	農具並犢牛一頭購入資金	步一	玉井佐太郎	妻	玉井もん
二五	松山市府中町二	青物類行商資金	同	萬田乙五郎		本人
二五	府中町三	饂飩行商資金	步上	垂水辨太郎	父	垂水定吉
二五	唐人町二	小道具類製作資金	一靴工	八東安太郎	長男	八東朝太郎
二五	上浮穴郡參川村	農具購入資金	步上	德田近市	母	德田みつ
二五	伊豫郡北伊豫村	機及元糸仕入資金	步一	大政貞次郎	妻	大政いしよ
二五	同	耕仲買業資金	同	渡部辰次郎		本人
二五	下灘村	漁船及附屬品購入資金	同	曾我柳藏	父	曾我近太郎
三〇	西宇和郡矢野崎村	化粧品行商資金	三水	稻田豐	母	稻田ちか
三〇	宮內村	玩弄品行商並豆腐製造業資金	輜輸	山口萬太郎	妻	山口わか
二五	眞穴村	柑橘類及魚行商資金	步上	松本鶴松	父	松本利喜松
三〇	東宇和郡宇和町	養蠶及蠶具購入資金	騎上	兵頭彌助	父	兵頭金次
二五	北宇和郡宇和島町	生魚行商並飲食店營業資金及該品具購入代共	工二	中平大介	妻	中平ぬい
二五	同	木賃宿營業用器具購入及資金	步一	袋屋伊勢松	長男	袋屋庫一
二五	吉田町	同上	步上	奥野吉藏	父	奥野熊藏
二五	來村	運搬業用の牛購入資金	步二	笠松馬吉	父	笠松菊治
三〇	南宇和郡內海村	漁船及附屬品購入資金	步一	濱田菊藏	父	濱田房吉
三〇	一本松村	運搬業用の馬及馬具類購入資金	輜輸	嘉喜山彌市	父	嘉喜山曾市

合計金一千二百五十四圓 人員四十七人

佐賀支部

▲委員部總會

五月廿三日東松浦郡久里村委員部第二回總會を同村大字大野丸野神社境內に於て赤十字社同村分區總會と合同開催せり、當支部よりは主事々務取扱山村知次臨席郡幹事部よりは郡長柳田顧問郡書記辰野事務員鈴木陸軍少佐等臨場先づ村長大久保武氏委員として開會の辭を述べ柳田郡長戊申詔書を捧讀し大久保村長勅語令旨の捧讀あり西村當支部長の祝詞を代讀(山村)し柳田顧問は赤十字社並愛國婦人會の必要より國家に及ぼす影響關係等に就き周到なる演說をなし山村主事取扱は先年來本會に關する世評に對する說明及同會員の現況創立以來の施設事業其の他本部支部に於ける基本金救護資金等に關する內容に就き詳細なる報告をなし收入委員たる鈴木少佐は熱烈悲壯なる演說山田西海新聞社員は簡單なる希望的演說をなし最後に大久保委員は事務報告を兼たる答辭を述べ式を終り宴會に移り來賓には折詰瓶酒の饗應あり。社員會員は各自携帶の重詰辨當を開き豫て用意の冷酒を配付し餘興には筑前琵琶福引等あり尙會員には總裁殿下御染筆の和歌に配與し各自和氣藹然たる裡に散會せり出席合員は八拾四人中六拾餘人にして誠に盛會なりし

高知支部

▲遺族癈兵接待

四月二三兩日縣下長岡郡五臺山林大島岬招魂社例祭あり支部職員及幹事委員會員等數十名早朝より同神社に出張し參拜の遺族並に癈兵に對し十分なる接待をなせり、當日參拜の遺族並に癈兵數左の如し。

遺族並癈兵數	
維新戊辰西南朝鮮事變遺族	內 八十五人
日清戰役遺族癈兵	八十四人
日露戰役遺族癈兵	千六百六十二人
	千八百三十一人

▲海軍軍人接待

四月十四日午後二時第一艦隊薩摩、伊吹、肥前、鹿島、筑波の諸艦浦戶港外に來航碇泊せしを以て和田支部副長及藤崎行山の二幹事水上警察の大鷹丸に便乘して艦隊を訪問し翌十五日及十六日の兩日各艦の將校以下兵士多數高知市に上陸せるを以て當支部は日本赤十字社高知支部と協同にて高知公園內舊本の丸懷德館に名家の甲冑刀劍書畫等を陳列し尙諸種の生花を爲し珍客の縱覽に供すると共に同館を將校休憩所に充て一面下士以下には同公園內最も眺望良き二の丸に幔幕を張り卓椅子等を備へたる假休憩所を設け兩日間和田五藤兩副長始め幹事、委員、會員等數十名出場茶菓の饗應を爲し遠來の勞を犒へり。

兵庫支部

●明治四十三年度事務成績

▲會員 本年中入會の會員は特別三人通常百拾四人合計百拾七人なり又本年中退會の會員は特別六拾壹人通常壹千百參拾六人合計壹千百九拾七人なり

▲會費 本年中醵集金額は參萬貳千四百參拾六圓拾錢にして之れを細別すれば特別會員貳千百拾七人より貳千六百八拾五圓通常會員參萬貳千四百九拾七人より貳萬九千七百五拾壹圓拾錢を醵集したるものなり

▲支部基本金 本年中基本金に組入たる高は會費歩合より收入せし金額參千貳百四拾參圓六拾壹錢之れに前年度より越高壹萬七千五百四十七圓七拾四錢參厘及寄附金參拾圓贊助金歩合參拾錢を加ふれば現在高貳萬零八百貳拾壹圓六拾五錢參厘なり

▲支部救護金 本年會費歩合收入高六千四百八拾七圓貳拾貳錢及本部より受入れの定期救護金參千〇六拾四圓に前年より越高貳萬零九百零壹圓九拾七錢參厘を加ふれば參萬零四百五拾參圓拾九錢參厘となる而して本年支出高六千七百參拾八圓を控除すれば差引現在高貳萬參千七百拾五圓拾九錢參厘なり

(本項支出は四十三年度中に支拂たる金額を掲ぐ、)

▲支部經費 本年中經費總支拂高は六千九百九拾四圓貳拾錢貳厘なり

▲寄附金 本年中篤志者にして寄附せしは會員北之間重子氏より支部經費中へ金拾貳圓及近藤喜保氏より支部基本金中へ金參拾圓なり

▲救護 本年中軍人遺族及癈兵に救護金を贈與せし人員壹千四百九拾六人にして金額六千七百參拾八圓內定期救護金を贈與せしもの壹千貳百五人此金額五千五百九拾六圓(本部支出三千〇六拾四圓支部補助貳千五百參拾貳圓)臨時に支部より救護金を贈與せしもの貳百九拾壹人此金額壹千百四拾貳圓なり (つゞく)

愛國婦人第二百二十九號附錄 發行兼印刷人 山澤俊夫 編輯人 竹內貞三 發行所 東京麴町區飯田町 愛國婦人發行所 印刷所 東京市小石川區久堅町 博文館印刷所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN